

特定非営利活動法人食べて語ろう会

平成27年度事業報告

I 事業の経緯及び成果

これまで長年に亘り、有志の任意団体である「食べて語ろう会」（以下、「任意団体」という。）が、家庭環境に恵まれない子どもや青少年に対して食事や居場所を提供する活動を続けてきた。当法人は、この活動を引き継ぎ、さらに活動内容を拡充すべく、平成27年8月17日に設立されたものである。設立に当たっては、多くの方々からご支援やご協力を頂いた。

設立初年度の当事業年度は、「任意団体」と併存するかたちとなり、当法人は、事業を引き継ぐ準備段階として、主として組織整備、広報活動等を行った。家庭環境に恵まれない子どもや青少年に対して食事や居場所を提供する等の活動は、「任意団体」が主催し、当法人はそれに協賛した。

期末現在の会員数は次のとおりである。（平成28年3月31日現在）

正会員	40名
賛助会員	128名
合 計	<u>168名</u>

II 事業の実施に関する事項

1. 食事や居場所等を提供する生活支援事業（「任意団体」に協賛）

① 中央公民館での活動

開 催 日 毎月第1・第3日曜日（3月は毎週日曜日）

場 所 中央公民館 広島市中区西白島町24番3号

参 加 人 数 子ども達 約70名

② 横川の家・中本忠子宅での活動

活 動 日 数 198日

場 所 横川の家 広島市西区横川町3丁目9番12-705号

中本忠子宅 広島市中区基町20番1-1466号

人 数 子ども達 約30名

2. すべての人に対し、家庭環境に恵まれない子どもや青少年への理解と支援を

呼びかける事業

(1) 講演会

① 設立記念講演会

日 時 平成27年11月3日（火）13時30分～17時

場 所 広島弁護士会館 広島市中区上八丁堀2番73号

参加人数 133名（懇親会は66名）

・記念講演 14時30分～15時30分

講 師 山田憲児さん

（日本社会事業大学客員教授・元中国地方更生保護委員会委員長）

講 題 「人となること」

・シンポジウム 15時45分～17時

テー マ 「非行少年の再非行防止と地域の支援について」

シンポジスト 山田憲児さん、

永井覚さん（元暴力追放広島県民会議専務理事）

小出伸行さん（岡山少年院統括専門官）、

中本忠子（特定非営利活動法人食べて語ろう会理事長）

コーディネーター 定者吉人さん（弁護士）

② 講演会・交流会（「任意団体」に協賛）

日 時 平成27年9月6日（日）15時～19時

場 所 中央公民館

講 師 高坂朝人さん

（NPO法人再非行防止サポートセンター愛知 理事長）

近田憲久さん

（NPO法人再非行防止サポートセンター愛知 副理事長）

講 題 「再非行を減らし、笑顔を増やしたい」

人 数 40名（交流会は50名）

講演会終了後、交流会を行った。

③ 会員による講演

・ 中本忠子～広島国際学院大学、浄土真宗本願寺派安芸教区保護司会など

・ 小岩和子～広島市社会福祉協議会

(2) 会報の発行

NO. 1 平成27年11月1日

NO. 2 平成27年12月1日

(3) マスコミ取材・報道への協力

新聞 中国新聞、東京新聞など
テレビ NHK、フジテレビ、TBSなど
ラジオ NHK
雑誌 週刊女性、週刊朝日

3. 子どもや青少年の非行・再非行の防止事業（「任意団体」に協賛）

(1) 研修会

日 時 平成28年3月13日（日）17時～18時
場 所 中央公民館
講 師 仲本典正
(前広島県薬務課課長、特定非営利活動法人食べて語ろう会監事)
講 題 「薬物乱用防止と性教育について」
人 数 子供5名

(2) 子ども達と食事をしながら悩みなどを聞く事業（「任意団体」に協賛）

上記1. 食事や居場所等を提供する生活支援事業と並行して実施。

4. 子どもや青少年へ、文化・芸術・スポーツ・レクリエーション、多様な学び、

資格取得の機会等を提供する成長発展支援事業（「任意団体」に協賛）

- ・子どもや青少年、会員、支援者の交流会(焼肉会)
実 施 日 平成28年3月26日
場 所 食辛房 広島白島Qガーデン店
人 数 15名

5. その他

中本忠子理事長の受賞

- ・平成27年11月30日 社会貢献表彰(公益財団法人社会貢献支援財団)
- ・平成28年 3月17日 広島市民賞(広島市)